

平成24年度 決算

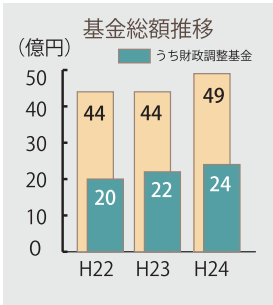
問合せ
財政課
73・8008

一般会計では、歳入が対前年比0.7%（1億87万円）の増、歳出が対前年比0.5%（6720万円）の減と、ほぼ横ばいの決算額となりました。

市の貯金 — 基金残高

現在14種類ある基金（貯金）の総額は、約49億3800万円となっています。そのうち48.6%を占めるのが市の財政をやりくりするための貯金である「財政調整基金」です。

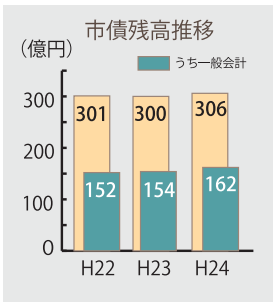
平成24年度は効率的な財政運営に努めた結果、2億4600万円を積み立てることができました。



市の借金 — 市債残高

市の借金である市債の現在高は約306億円です。増加の理由は、あわら消防署庁舎建設事業などの借入れがあったためです。

公共施設の建設や改修の際に借金をする理由は、建設時の納税者だけではなく、施設を利用する次の世代にも負担を求めることで世代間の公平性を保つためです。

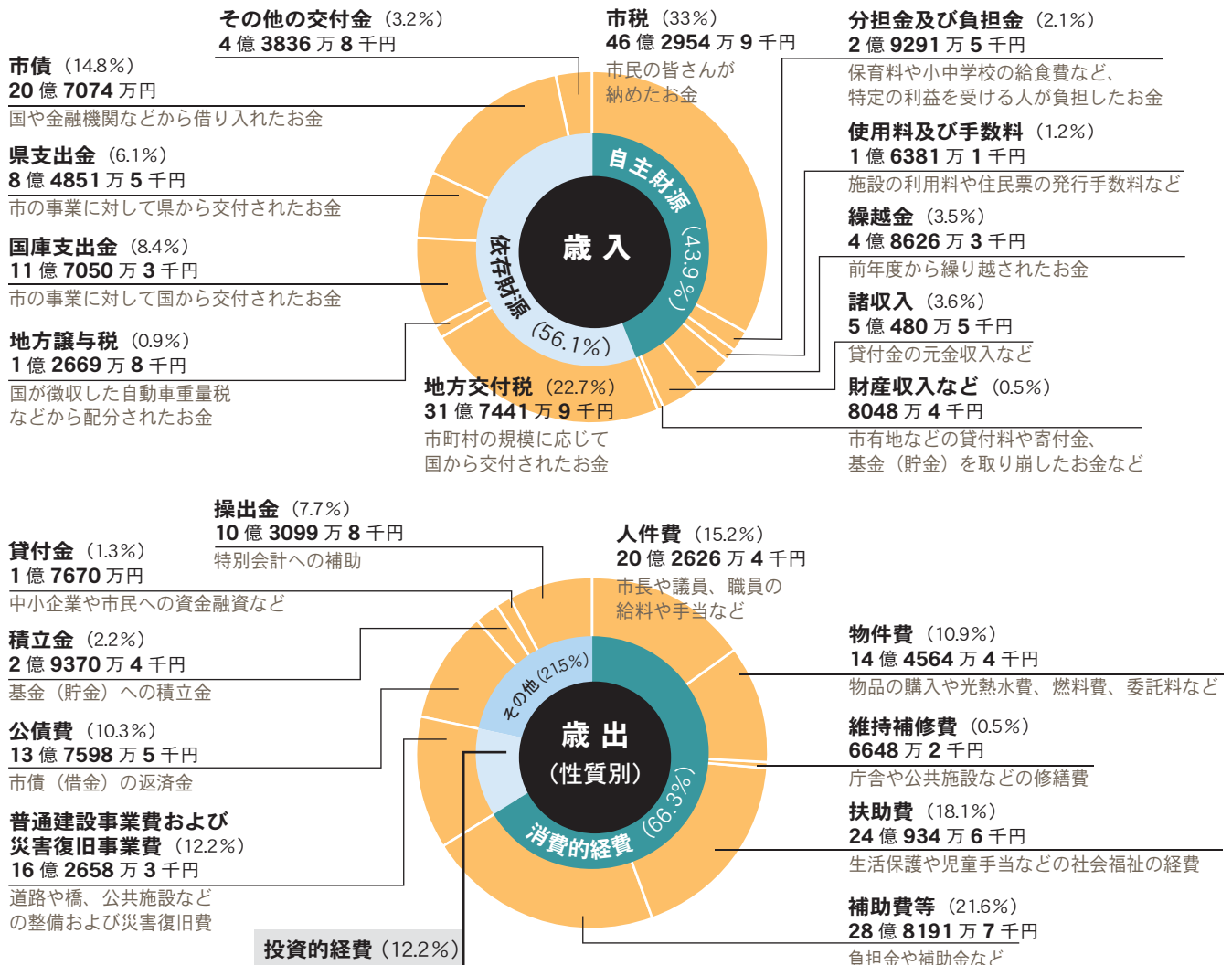


一般会計歳入決算額

139億 8707万円
(対前年度比0.7%増)

一般会計歳出決算額

133億 3362万3千円
(対前年度比0.5%減)



各会計の決算額 (単位：千円)

| | | 歳入総額 A | 歳出総額 B | 差 引 C=A-B | 繰越すべき財源 D | 実質収支 C-D |
|---|-------|------------|------------|--------------|--------------|-------------|
| 一般会計 (市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計) | | 13,987,070 | 13,333,623 | 653,447 | 188,134 | 465,313 |
| 特別会計 (保険料などの特定収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています。) | | | | | | |
| 国民健康保険特別会計 | | 3,438,265 | 3,206,615 | 231,650 | 0 | 231,650 |
| 後期高齢者医療特別会計 | | 300,234 | 299,617 | 617 | 0 | 617 |
| 産業団地整備事業特別会計 | | 70,247 | 288,357 | △ 218,110 | 0 | △ 218,110 |
| 農業者労働災害共済特別会計 | | 5,071 | 3,703 | 1,368 | 0 | 1,368 |
| 企業会計 (一般の会社と同じように、独立した収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計) | | | | | | |
| 水道事業会計 | 収益的収支 | 793,198 | 782,413 | 10,785 | 0 | |
| | 資本的収支 | 48,543 | 259,033 | △ 210,490 | 0 | |
| 工業用水道事業会計 | 収益的収支 | 11,055 | 10,283 | 772 | 0 | |
| | 資本的収支 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 公共下水道事業会計 | 収益的収支 | 1,027,569 | 1,011,837 | 15,732 | 0 | |
| | 資本的収支 | 880,486 | 1,218,360 | △ 337,874 | 82,489 | |
| 農業集落排水事業会計 | 収益的収支 | 49,129 | 48,674 | 455 | 0 | |
| | 資本的収支 | 11,504 | 27,139 | △ 15,635 | 0 | |



小学校プール改修工事
8345 万円



あわら消防署庁舎建設事業
5 億 248 万円



観光推進事業
6753 万円



市民武道館耐震補強・改修工事
6223 万円



主な事業 の 決算額 (一般会計)



児童手当支給事業
3 億 7007 万円



デマンド交通運行事業
1359 万円



芦原温泉駅前にぎわい交流広場
整備工事
3822 万円



ごみ処理事業
1 億 3956 万円

歳出を目的別で見た決算額と市民 1 人当たりの決算額

※ () 内は 1 人当たりの決算額。平成 25 年 3 月 31 日現在の
住民基本台帳人口 (2 万 9869 人) で計算しています。

| | | |
|--|--|---|
| <p>民生費</p> <p>43 億 4202 万 6 千円 (14 万 5369 円)</p> <p>保育所運営、 障害者・高齢者対策など</p> | <p>教育費</p> <p>18 億 5382 万円 (6 万 2065 円)</p> <p>学校、公民館、 体育施設など</p> | <p>公債費</p> <p>13 億 7598 万 5 千円 (4 万 6067 円)</p> <p>市債 (借金) の返済</p> |
| <p>土木費</p> <p>12 億 7528 万 4 千円 (4 万 2696 円)</p> <p>道路、橋、公園、市営住 宅の整備や維持管理など</p> | <p>消防費</p> <p>10 億 1893 万 5 千円 (3 万 4113 円)</p> <p>消防施設や災害対策など</p> | <p>総務費</p> <p>9 億 8039 万 4 千円 (3 万 2823 円)</p> <p>庁舎管理、戸籍や住民票 の管理、防犯対策など</p> |
| <p>衛生費</p> <p>7 億 3893 万 9 千円 (2 万 4739 円)</p> <p>環境衛生、ごみ処理、予防 接種、妊婦・乳児健診など</p> | <p>農林水産業費</p> <p>6 億 4864 万 4 千円 (2 万 1716 円)</p> <p>農林水産業の振興や農道、 排水施設の整備など</p> | <p>商工費</p> <p>4 億 8680 万 1 千円 (1 万 6298 円)</p> <p>企業誘致、商工業の振興、 観光推進など</p> |
| <p>議会費</p> <p>1 億 8591 万 1 千円 (6224 円)</p> <p>議会の運営</p> | <p>労働費</p> <p>1 億 1461 万 7 千円 (3837 円)</p> <p>雇用対策、市民への 生活資金融資など</p> | <p>その他</p> <p>3 億 1226 万 7 千円 (1 万 453 円)</p> <p>基金 (貯金) への積立金 や災害復旧費など</p> |

目的別で見ると、前年同様に
民生費が全体の 30% 以上を占め
ています。
これは、保育所運営や児童手
当、医療・介護保険、生活保護
などの福祉事業の比重が大きい
ためです。

歳出決算額 (目的別)
133 億 3362 万 3 千円
市民 1 人当たりの決算総額
44 万 6400 円



あわら市の健全化判断比率と資金不足比率

健全化判断比率

| 区分 | 早期健全化 基準 | 財政再生 基準 | H 24 |
|----------|-------------|------------|--------|
| 実質赤字比率 | 13.65% | 20.00% | (赤字なし) |
| 連結実質赤字比率 | 18.65% | 30.00% | (赤字なし) |
| 実質公債費比率 | 25.0% | 35.0% | 11.6% |
| 将来負担比率 | 350.0% | (基準なし) | 42.6% |

※ 早期健全化基準は、各市町村の財政規模に応じて異なり、
表中の基準はあわら市において適用される基準です。

資金不足比率

| 会計名 | 経営健全化 基準 | H 24 |
|--------------|-------------|-------|
| 産業団地整備事業特別会計 | 20.0% | 12.8% |

※ 水道・工業用水道・公共下水道・農業集落排水事業会計
は資金不足が発生していません。

平成 24 年度決算に基づく各指
標は次のとおりで、実質公債費
比率と将来負担比率は数値が
年々改善されるなど、いずれの
比率も財政悪化を表す国の基準
を下回っています。
また、産業団地整備事業特別
会計については、資金不足の解
消のため、未売却土地の早期売
却に努めています。(平成 24 年度
売却実績…1 件 4997.7m²)

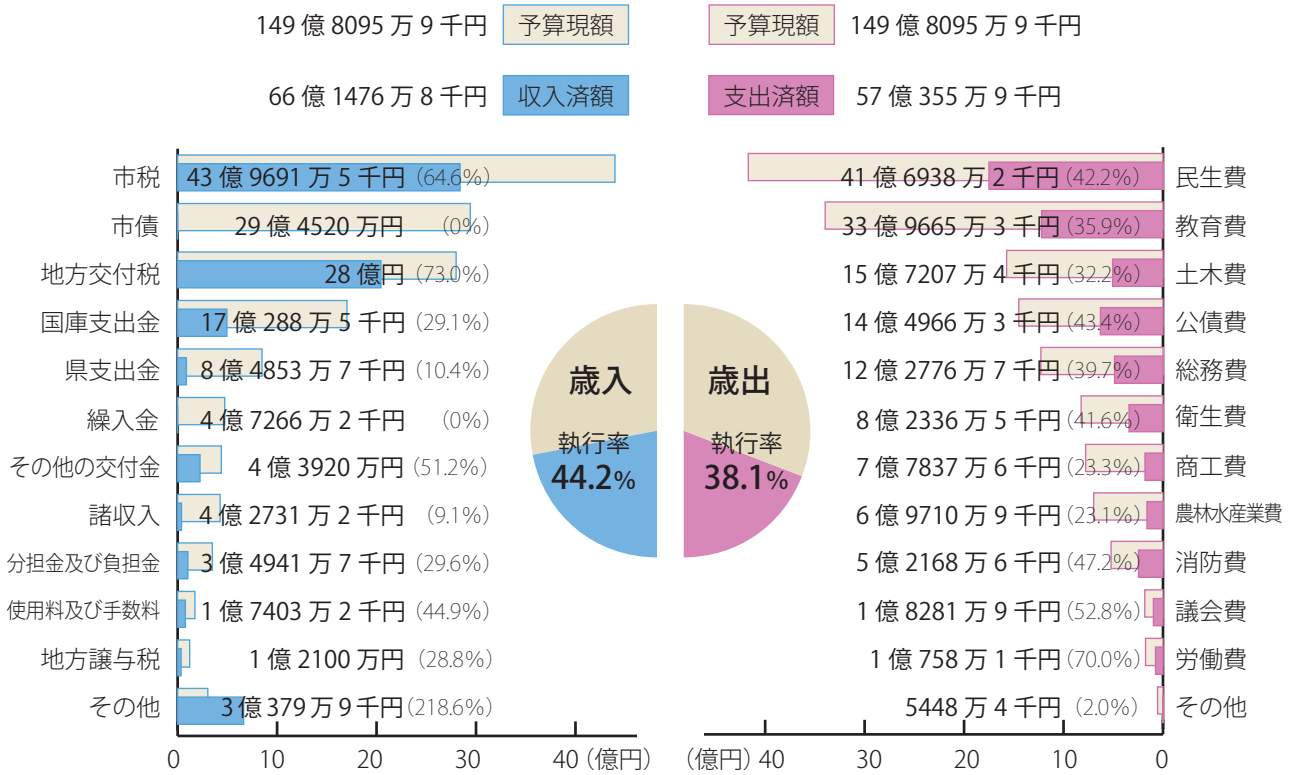
あわら市は
基準をクリア
しています



平成 25 年度上半期の 予算執行状況 をお知らせします

一般会計歳入歳出予算執行状況 (平成 25 年 9 月末現在)

グラフの数値は予算現額、() 内は執行率です。



※ 予算現額には平成 24 年度からの繰り越し分を含んでいます。

問合せ 財政課 ☎ 73-8008